

奈ト協、健康管理セミナー

定期健診 フォロー重要



【奈良】奈良県トラック協会(塚本哲夫会長)は13日、全日本トラック協会との共催で健康管理セミナー

を開いた。定期健康診断の結果の活用方法やSAS(睡眠時無呼吸症候群)対策などについて説明した。

第1部では、NPO法人(特定非営利活動法人)へ

「健康管理は社員が生き生きと長く働くために必要不可欠」とOCHISの作本副理事長

ルスケアネットワーク(OCHIS、武田裕理事長、大阪大学名誉教授)の安島なつき氏が「定期健康診断の有効活用と健康経営への活かし方」と題して講演。健康起因事故の疾病別の内訳を示し、心疾患と脳疾患が多いことを伝えた。また、ドライバークの労働形態が生活習慣病になりやすい要因が多いことを指摘した上で、定期健康診断後のフォローの重要性を訴えた。

第2部ではOCHISの

作本貞子副理事長が「高齢ドライバーと運転業務」と「睡眠時無呼吸症候群」の基本的な対策について講演。加齢による視力や聴力などへの影響と認知症予防について説明したほか、SASと事故のリスクの関連性について解説した。

作本氏は「健康管理は社員が生き生きと長く働くために必要不可欠。ドライバーの健康に気を配ってほしい」と話した。

(中川美咲)